

令和8年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童生徒を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 資料を引用し、自分の考えが伝わるように工夫をして書き表すことができている。
- 文章を読み、その種類や特徴についての理解がよくできている。
- 自分の考えとそれを支える根拠をうまく整理して、表現することに課題がある。

【算 数】

- 条件に合う時間を求めるなど測定領域の理解が身に付いている。
- 表に示されたデータを見て、そこから分かることを言葉でまとめることができる。
- 立体の体積を求めるなどの図形領域に課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 睡眠や食事など規則正しい生活を送ることができており、学習意欲の向上が見られる。
- 学級全体で協力する力が育っており、自己肯定感が高い。
- 外国語を「好き」「得意」と感じている子どもが「国語」「算数」より少ない。
- 学校の授業以外で平日や休日に本を読んだり、新聞を読んだりしている子どもが少ない。

3 評価と今後の取組

(1) 教科に関する取組

① 効果があつた取組

- ・算数科を中心とする分割授業の実施
- ・授業だけで定着が不十分だった内容の重点指導の実施
- ・朝タイムの読書時間の設定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・自分の考えを表したり、他者と交流したりする場面の設定
- ・習熟タイムや宿題の内容の見直し

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があつた取組

- ・学びの形態や内容・表現方法を自己選択することができる学習の導入
- ・ICTを活用した学習活動
- ・裁量的な時間（ヒーロータイム等の子どもの主体的な活動）の運用

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・国語の学習と連携させて、本や新聞を読む場面の積極的な設定
- ・イングリッシュデイの工夫や外国語・外国語活動の時間における目的意識、相手意識のある言語活動の充実